

2014年度学校自己評価(中等部・高等学校)

東海大学付属相模高等学校
東海大学付属相模高等学校中等部

5～1は、保護者(評議員)・生徒・教職員へのアンケートを行っての教職員による自己評価(5よい 4おおむねよい 3どちらともいえない 2やや不十分 1不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策
学校運営	年間教育目標の実践と点検・現状における課題の解決・改善に努める	<p>①本校の教育方針である文武両道、文理融合、中高大一貫教育、充実した理数・英語教育という教育の特色はある程度理解され、その方針の下に学校教育が展開されている。理科に関しては特に大学との連携が中・高とも取れている。高校生・中等部生ともに、東海大学キャンパスでの学部学科に一日体験入学し、素晴らしさに触れさせている。</p> <p>②危機管理や安全対策の面では社会状況を反映して保護者から心配する声は多い。すべての保護者、外部者にIDカードを発行し、来校の際は着用して頂いている。車での出勤、来校を制限し緊急車両が安全に入構できるようにしている。緊急情報発信メールシステムを導入し活用している。防災備蓄に関しては、すべての生徒に3日分の食料や水等の個人用持出袋と学校備蓄品を用意している。今年度からは各クラスに防災用のタタメット(ヘルメット)を常備し避難訓練で使用した。今年度より緊急天候連絡システム(アマテラス)を情報収集に用い、より安全な学校運営に役立てている。</p> <p>③広報誌「さがみ」を定期的に発行し本校の教育活動の広報に努めた。HP上でも本校の教育方針、活動を発信してきた。PTA活動(建学祭や施設見学会、クラブ活動後援会等)も学校行事と連携し行われている。</p> <p>④地域との連携は、本年度も生徒会により地域清掃、歳末助け合い運動、吹奏楽部が地元のお祭りに出演、福祉委員会が「ふれあいフェスティバル」で地元の方を招待したりして行っている。市民講座として今年度は著名人を招き講演会を開催した。市民地域の学校関係者の参加があった。</p> <p>⑤中等部では、地域の商店・企業のご協力を得て、職業体験を実施し、生徒は大変貴重な体験をすることができた。</p>	4	<p>①本校の教育方針の更なる達成のため今後も各方面と協力して努力したい。東海大学への進学率は83.3%であった。また、中等部からは98.9%の生徒が高校へ進学した。さらに進学率をアップさせたい。</p> <p>②危機管理室、健康推進室を中心として生徒の健康、安全に配慮し一層の取り組みを強化していきたい。今年度から中等部1年で、防災教育の一環として「いのちの体験教室」を実施した。来年度以降も改善しながら実施し特色の一つとしたい。</p> <p>③本校の広報誌「さがみ」は好評であるため、HP上では見られない方々に何らかの方法で見えていただく努力をしたい。</p> <p>④地元の中学と連携して行事などを展開していければ良いと考えている。出前授業はすでに数校で実施している。部活動の一部で小学校、中学校と連携しているがその動きを拡大していきたい。</p> <p>⑤3年目の実施企画であるため検証が必要である。地域の商店・企業との連携をより一層強め、内容の充実をより計りたい。在校生に対する発表会は好評であったので継続したい。</p>
学習指導	基礎学力の定着と授業の充実	<p>①「充実した授業」を目標に授業を展開するよう心掛けてきた。例年と同じように中高とも十分には達成されたとはいえない結果である。「家庭学習の習慣」に関する項目では、いずれも低い評価にとどまった。また、図書館の活用については、依然として十分とは言えない状況である。本年度も各教科で研究授業を展開し、授業力向上と生徒の学力向上に努めた。非常勤講師の研究授業も行い、全校挙げて学力の向上に取り組んだ。</p> <p>②学園基礎学力定着度試験対策を行ったが、生徒のモチベーションを上げる工夫が必要である。そのため、教師には更なる学習意欲を高める工夫と努力が要求される。</p> <p>③高校では、SELH i は終了したが、引き続き英語教育の充実に取り組んでいる。</p>	3	<p>①～②まで引き続き取り組み、充実した授業の構築、学力向上に努力したい。研究授業を今後も継続して行いたい。学園で実施される2回の試験をもっと活用し、生徒の基礎学力の向上を図りたい。特に高校3年生後期の授業を充実発展させていき、高大連携試験につなげたい。</p> <p>③文部科学省のSELH i 指定終了後、引き続きSELH i 的な特徴ある授業は継続していく。今年度も公開授業を中等部・高校の各学年で実施した。そこでアンケートを今後の改善に役立てたい。</p>
クラス指導	遅刻・欠席のない明るいクラスづくり	<p>①「クラスが楽しい」かどうかの項目では、好評価であった。保護者の評価も高い。学校が楽しいということは、根源的に重要なことであるので、今後も重視していきたい。</p> <p>②生徒の悩みや問題に関して教職員、保護者の意識と生徒の意識には濃淡があり、生徒はもっと適切に親身になって指導してほしいと望んでいる。保護者の方は一定程度満足をしている。</p> <p>③心の悩み等に関しては健康相談室、養護教諭、相談室が連携を取りながら進めた。精神的に悩む生徒もおり、より注意深く生徒を見つめることが必要である。</p> <p>④生徒同士の人間関係はほぼ良好で、中高とも多くの生徒がクラスの一員としての自覚を持っている。多くは多彩な行事などを通して、よいつながりができている。</p> <p>⑤教室の清掃美化をしっかりと行うことによって、より良い環境を作ろうという意識が教師にも生徒にも育つことを期待している。</p>	4	<p>①これからも高い評価を維持していけるよう努力を続けたい。</p> <p>②については一層のきめ細やかな日常的な指導の必要性を感じている。情報交換を活発にし生徒の問題の把握に努めたい。保護者との連携を一層深める必要がある。</p> <p>③今後も関係機関と連絡を緊密にして生徒に対応していきたい。</p> <p>④錬成旅行、修学旅行、文化祭、体育祭などの行事等でより充実した活動をすることで、集団の中でこそ育つ個人の力を意識的に持っていきたい。</p> <p>⑤多くの学校行事やクラス行事に積極的に生徒が関わっている姿が見受けられる。自主自立の精神が培われているように、質的な向上を目指したい。</p> <p>⑥各種行事の前は特に念入りな清掃を行うなど今後も学校の美化に努めたい。</p>

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策
生活指導	社会ルールとマナー指導の徹底	<p>①教職員、保護者は生活指導面では、しっかりとした指導ができておりと高い評価となっている。指導されている生徒の方も一定程度校則を守って生活をしているという意識を持っている。本校のよき伝統は守られている。</p> <p>②本校の重点目標「挨拶の励行」に関しては、まだまだ不十分と感じている。しかし、しっかりとあいさつができる生徒・部活が増えてきており、この動きが一般の生徒にも広がってゆけばよいと考える。登下校のマナーに関しては、登下校指導を行うことにより、以前よりだいぶ苦情は減少した。</p> <p>③施設、設備の適切な使い方に関しては、おおむね良好であるが、電気等のつけっぱなしも指摘されていたりして、もう一步の改善を期待している。冷暖房の温度設定にも気を使っている。中部はトイレが新しくなったが、施設設備を大切に使うという心をさらに育てたい。</p> <p>④美化意識に関して教職員・生徒ともに徐々に向上している。教室等の美化が成果として出てきている。</p>	4	<p>①本校の規則については、生徒はおおむね守っており、本校の生徒指導は評価されて良いと思っている。今後も「いつでもどこでも」という指導の方針を徹底したい。</p> <p>②率先垂範の精神で教職員からの積極的な声かけ、挨拶から始めたい。挨拶の面では部活動を中心に良くなってきている。追隨する部活がどんどん増えてほしい。</p> <p>③省エネルギーの数値目標を達成すべく努力したい。生徒の方の意識がまだ低いので啓蒙していきたい。</p> <p>④学年ごとに点検するというやり方を徹底したい。部活生がまずルールを守るという指導から始め、それを端緒として多くの生徒がルールを守るという姿勢を身につけさせたい。</p>
進路指導	目標設定と進路決定の早期化	<p>①中・高・大一貫教育のための進路に関する集会やオープンキャンパスの実施、保護者説明会等を実施。進路通信などを発行し情報を提供している。保護者の満足度はある程度あるが、さらなる情報を提供し要望に応じていきたい。</p> <p>②日常的に廊下や教室などに進路に関する情報を掲示などして工夫した。進路ニュースも発行した。図書館などでも同様の試みをした。</p> <p>③進路決定が早期化したため、二者面談や三者面談を通して一層細やかな指導と情報提供が必要となった。高校2年時の指導がカギになる。中部の生徒も漫然と高校へ推薦で行くという意識を変えさせるべく、成績下位者には面接をするなどして意識の向上に努めた。</p> <p>④医学部進学者に対する校長面接の実施。</p>	4	<p>①LHRでの情報提供や学年からのきめ細やかな情報発信にさらに努めたい。進路決定が早期化したため、教師も今まで以上に学ぶ必要がある。さらに進路通信を定期的に発行し啓蒙活動に努めたい。</p> <p>②～③について、3年生の6月で進路が決定するという現状に鑑み、保護者面談を実施するなど特に2年生での進路指導に力を入れたい。進路決定の重要な要素である基礎学力定着度試験への取り組みを一層充実したものにしたい。高大連携の観点からも、11月に実施される高大連携試験にしっかり取り組ませたい。中部の生徒には特に学力面での取り組みの甘さがあるので、定期試験等で追試を行うなど厳しい姿勢で臨んだが、まだまだ十分とは言えない。</p>
特別活動	生徒会活動と部活動の活性化	<p>①おおむね生徒会活動は、自発的に運営されている。ただし、学校行事、生徒会活動、委員会活動に積極的にかかわっていないという生徒が、中部部、高校と多少の差はあるが、30%前後の数に上っている。今年度全クラスが文化祭に参加した。大変すばらしいことであると思う。</p> <p>②保護者と教職員は部活動への指導が熱心であるかという問いには高い評価が出たが、生徒の方は運動部・文化部に関わらずもっと指導してほしいという要求も持っている。</p> <p>③全国大会に多くのクラブ（野球、柔道、陸上、剣道、アーチェリー、囲碁将棋部等）が出場し、成果を上げている。</p>	4	<p>①生徒会活動や行事は活発だが、クラブ生の参加率が低いのが問題である。多くのクラブの生徒が建学祭などの行事に関わることができるようにしたい。委員会活動の活性化を図って魅力あるものにしていきたい。</p> <p>②今年度は文科系クラブが活躍したが、生徒がさらに熱心な指導を求めているということである。文化部が衰退しないように取り組みたい。部員数の少ない部活動を何とか活性化したい。科学系の部活を活発にしたい。</p> <p>③運動部に関しては、今年度も複数顧問制を敷いている。</p>
研究・研修	公開授業の定期化	<p>①SELHi（英語）は終了したが、引き続き特色ある授業を展開し、先駆的な授業を実践していきたい。また各教科での研究授業を実施し授業力の向上にこれからも努めたい。</p> <p>②年2回の保護者対象公開授業の実施。</p> <p>③年2回の市民講座の開催。</p>	3	<p>①授業参加者のアンケートを授業に生かし課題を克服していきたい。保護者アンケートの意見を真摯に受け止めより良い授業を目指したい。</p> <p>②教員が学んできたことを実践の場で生かしたい。</p> <p>③より多く地域の方々が参加できるように努力したい。</p>
その他		<p>①学校改革に関しては、様々な取組が行われ、現段階では充実期に入っていると思われる。</p> <p>②保護者の本校の教育への評価はおおむね好意的であり、評価が高い。しかし、批判的な意見をしっかりと受け止めて、今後も情報を収集しながら、危機管理や安全管理に一層努めていきたい。</p> <p>③現状に甘えることなく学校改革を押し進めることで、評価される、選ばれる相模高等学校・中部教育を目指したい。</p> <p>④野球場防球ネットの新設、屋外トレイの改修、消火器の交換、消火設備の更新などを行ったが、今後も施設設備面での充実に取り組むたい。</p>		